

【令和6年度 芦野小学校グランドデザイン】

「学校教育目標」

心とからだが健康で 何事にも進んでとりくむ 子どもの育成

★ 自分から学ぶ子 ★ 広い心の子 ★ じょうぶな身体の子

○ 健康な心と健康なからだとは？

楽観性 … うまくいかないことがあっても「まっいいか」と自分や他者を許せる生き方ができる。

感謝 … 何事も当たり前でなく、「ありがとう」が言える生き方ができる。

良い睡眠 … 布団に入ってゆっくりと深呼吸を続けたら眠りに入れるからだの反応がある。

やり切り感覚 … 結果に捉われずに最後までやり切った感覚を感じるからだの反応がある。

○ 何事にも進んで取り組むとは？

自己決定 … 「こうなるといい」「これがしたい」という欲を持つ生き方ができる。

解決志向 … できない理由や原因を探るのでなく、できる方法を探す生き方ができる。

自己責任 … 目の前の結果は、自分が決めた結果だと受け止める潔さがある生き方ができる。

家庭で育み

学校で磨き

地域で鍛える

1. 生活習慣を身につけさせる

- ・早寝・早起き・朝ごはんの定着
- ・時間や決まりの遵守
- ・自分と相手を大切に作る生き方

2. 情報機器とうまく付き合う

- ・家庭での約束の徹底
- ・危険性の啓発とチェック機能

3. 家庭学習の取組を充実させる

- ・自主学習・宿題への協力

1. 学力の基礎基本を定着させる

- ・授業改善と学習規律の向上
- ・習熟度に合わせた学習形態
- ・朝学習と家庭学習

2. 社会性を定着させる

- ・集団生活への適応能力の向上
- ・分別と感情制御のスキル獲得

3. 双方向連携の教育活動をする

- ・説明責任と情報提供

1. コミュニティスクール

- ・学校経営の説明と協議
- ・学校評価の公表と改善
- ・地域町内会との情報交換

2. 経験を広げる

- ・支援ボランティアの募集
- ・読み聞かせ・地域の先生

3. 安全・安心の確保

- ・子どもを見守る地域の存在

何ができるようになるか
【学校教育の基本】

資質・能力の育成

何が身に付いたか
【教育課程の在り方と評価】

- 生きて働く知識・技能の習得
- 未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成
- 学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

- 指導と評価の一体化（計画⇒実行⇒チェック⇒行動）
常にチェックをして、すぐに修正した行動を実践
- 「主体的対話的で深い学び」への授業改善
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践
- 「ICT環境」の充実と活用

目指す子ども像「いい顔 いい声 いい姿勢」

- いい顔 ～ 真剣な表情、満足な表情、喜びの表情等がにじみ出る自己肯定感の高い子ども
- いい声 ～ 挨拶・返事、歌声の美しさ、学習中の発言等、自己表現力が高い子ども
- いい姿勢 ～ 学習中の姿勢、聞く姿勢、体力向上、物事に対する意欲が高い子ども

目指す教師像「子ども達の笑顔を守るチーム芦野小」

- 【授業力】主体的に学び続け、授業の改善にチャレンジする教師
- 【チーム力】常に疑問を持つ批判力をもちながら、折り合いを探せる協働性のある教師
- 【信頼感】確かな専門性を持ちモデルとなる姿を通して、保護者・地域から信頼される教師

目指す学校像「一人一人に居場所のある学校を目指して」

- 自己肯定感や自己有用感の高まりを目指し、自己決定を尊重する子どもと共にある学校
- 不適切な行動に対して、想いを認めて手段を認めない関係が教師と子どもにある学校
- 「ありがとう」「ごめんね」「ドンマイ」のふわふわ言葉が飛び交う学校